

北海道にて高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜確認 今シーズン国内6例目！！

【農場概要】

場所：北海道伊達市（北海道2例目）

飼養状況：肉用鶏（約15万羽）

【経緯】

11/6 死亡鶏増加の通報を受け、立入検査実施、簡易検査陽性判明

11/7 遺伝子検査で鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

- 国内の野鳥での発生は、神奈川県、宮城県、福井県、北海道、新潟県、鹿児島県の1道5県で10例確認されています（11/7現在）。

飼養衛生管理基準の遵守、防疫対策の徹底をお願いします

- 早期発見・早期通報
 - 防鳥ネットの再確認および人・車両の出入りの厳重管理
 - 農場周辺の消石灰散布などの消毒
 - 防鳥ネット、家きん舎の破損等の点検
 - 農場内における手指・長靴の消毒
- ※消毒薬は使用前に長靴の汚れを洗淨する、消毒薬を毎日交換するなど適切に使用する
- 特に毎月の自己点検7項目を確実に実施していただき、不遵守の場合はできる限り早急な対応をお願いします

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。
東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内395) FAX:0573-25-7669